

# 令和2年度山口県中核充填所稼働訓練の実施

## 1 訓練概要

大規模地震の発生により、山陽小野田市周辺地域においてL Pガスの供給に支障が生じ災害時石油ガス供給連携計画及び山陽小野田市と山口県L Pガス協会宇部小野田支部が締結した「災害時における物資に関する協定」（以下「災害協定」という）に基づくL Pガス供給要請を受けたことを想定して、山口県中核充填所委員会及び山口県L Pガス協会宇部小野田支部が共同で中核充填所稼働訓練及び山口県L Pガス協会宇部小野田支部防災訓練を実施する。

2 日 時 令和2年10月21日（水） 13:30～14:30

## 3 訓練項目

- ①地震発生による負傷者の確認及び充てん所の緊急点検
- ②ローリー受入場所付近からのガス漏洩に対する応急措置訓練
- ③災害時石油ガス供給連携計画による応援要請・対応訓練
- ④山陽小野田市との防災協定に基づくL Pガス供給訓練
- ⑤共通バーコードを利用した他社容器への充填訓練

## 4 実施場所

山陽小野田市大字東高泊1561番地  
小野田液化石油ガス協同組合



## 5 主 催

山口県中核充填所委員会  
山口県LPガス協会宇部小野田支部

## 6 訓練参加機関

小野田液化ガス販売株式会社

※ この訓練では、これまで他の中核充填所や関係機関にも参加していただき、中核充填所間の応援や、市町、消防機関との連携について訓練の中で確認していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、対応手順の確認にとどめ、参加は要請しないことにしました。

## 7 受付 ※コロナ感染防止対策の徹底



## 8 訓練

### (1) 開会式



(2) 防災訓練  
○ローリー受入



○地震発生



○ガス漏洩発見～漏洩停止処置



○場内安全確認の実施



(3) 中核充填所稼働訓練

○現地対策本部での対応



○緊急配送車両



(4) 参加者

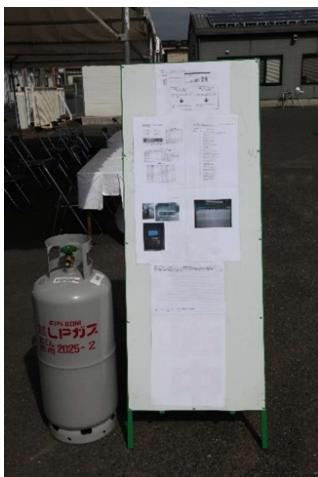


(5) 閉会式



9 稼働訓練における共通バーコード普及の取り組み (R1~)

- (1) 共通バーコードを利用した他社容器への充填を訓練に導入
- (2) 共通バーコードを貼付した容器を訓練会場に展示



3501~3542(下2桁は充てん所番号)

スタート コード	容器記号番号								容器種別	風袋値	充填期限	事業者コード	チェック デジット	ストップ コード								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23

共通バーコード



※ 共通バーコードとは

系列を超えて充填が可能な共通規格のバーコードであり、現在流通しているバーコードは充填所間の互換性がなく災害時に他社容器に充填ができないため、平成28年度から普及が進められており、現在、県内9中核充填所に専用ソフトを導入済み。